



# ウスバサイシン

(2006年5月4日 撮影)

4月下旬から5月中旬にかけて、日当たりの良い林道沿いや斜面で見かけます。

花の直径は1 cm ほどで、地面に置いてあるように咲いています。そこから葉が2本伸びています。漢字で書くと「薄葉細辛」と書きますが、これは根がとても辛いことからついています。その根は、咳止めの薬草になるそうです。

葉の裏側に、「ヒメギフチョウ」というめずらしい蝶が産卵します。幼虫は葉を食べて成長します。



ヒメギフチョウ

花のアップ